

第62回学校給食夏季講習会実施要項

- 1 趣 旨 学校給食の食事内容を改善、充実し、児童生徒の一段の健康の増進と食事に対する正しい知識とその実践を図るために必要な事項について研修を行い、併せて栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上と学校給食の振興に資する。
- 2 主 催 公益社団法人 全国学校栄養士協議会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-15-5 DSビル1005号
電話 03-6380-4360 FAX 03-6380-4363
- 3 後 援 文部科学省
- 4 期 日 令和8年7月18日（土）～7月19日（日）
- 5 実施形態 インターネットによるWEB配信（ライブ配信及びオンデマンド配信の予定）
パソコンとインターネットの接続環境が用意されていること。
- 6 参加費用 無料
- 7 参加者 栄養教諭・学校栄養職員 160名
[会員] 参加人数・各都道府県会員数をもとに、以下の配分とする。

50名まで	1名
51～110名まで	2名
111～150名まで	3名
151～250名まで	4名
251～300名まで	5名
301～400名まで	6名
401～600名まで	8名
601名以上	10名

[一般] 若干名
- 8 参加申込方法（2段階の申込み）
 - ① [会員] 参加希望者は、参加申込書をホームページよりダウンロードし、**5月22日（金）**までに各都道府県の代表者に提出すること。代表者は取りまとめて、Eメールにて**令和8年5月29日（金）**までに事務局に申し込むこと。
[一般] 電話後、FAXで**令和8年5月29日（金）**までに申し込むこと。
 - ② 参加者がWEB配信の本講習会を受講するには、各々、申し込みフォームからの申し込みが必要となる。申し込み時期、方法の詳細については追って連絡する。

9 日 程 (予定)

7月18日 (土)

時 間	講 義 内 容	講 師	所 属
9 : 30 ～9 : 50	開講式 会長あいさつ ブレイクアウトルームの 動作確認	長島 美保子	(公社) 全国学校栄養士協議会 会 長
9 : 50 ～10 : 50	学校における 食育の推進について	山上 望	文部科学省総合教育政策局 健康教育・食育課 食育調査官
10分	アンケート入力・休憩		
11 : 00 ～12 : 00	学校における教育活動と 著作権	原口 直	東京学芸大学 学校図書館運営専門 委員会 著作権アドバイザー
60分	アンケート入力・昼休憩		
13 : 00 ～14 : 30	学校給食の衛生管理	勢戸 祥介	大阪公立大学大学院 客員研究員
15分	アンケート入力・休憩		
14 : 45 ～16 : 20	日本人の栄養摂取基準の 解説と EER による給食管 理	由田 克士	大阪公立大学大学院 食栄養学分野 公衆栄養学 教授
16 : 20 ～16 : 30	アンケート入力・事務連絡		

7月19日 (日)

時 間	講 義 内 容	講 師	所 属
10 : 00 ～11 : 30	個別的な相談指導の 進め方	鈴木 志保子	神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科 研究科長
11 : 30 ～12 : 00	アンケート記入 グループ (ブレイクアウトルーム) 協議についての説明 グループ (ブレイクアウトルーム) に分かれて自己紹介		
60分	昼休憩		
13 : 00 ～14 : 10	ICT を用いた指導案の交流 グループ (ブレイクアウトルーム) に分かれ各自が作成した指導案の交流と班 代表の指導案の選出を行う		
10分	休憩		
14 : 20 ～16 : 00	指導講評 各班の指導案の発表	藤本 勇二	武庫川女子大学教育学部教育学科 教授
16 : 00 ～16 : 50	学校における食育の実践		
16 : 50 ～17 : 00	アンケート入力 閉講式		

10 2日目の午後のグループワークについて

各自が考えた指導案を持ちより小グループで指導展開、進め方、計画方法等を検討することによって、資質の向上を図る。

【グループワークのねらい】

- ① 「子供を主体とした指導実践」について深める。
- ② ICTを活用した指導実践の交流を行う。

【テーマ】 ICTを活用し、子供を主体とした指導実践を行う。

小学校 ①オンラインを使用した給食時間の指導（例：給食センターと教室をつなぐ）

②オンラインを使用した授業（例：生産者と教室をつなぐ）

③給食時間における ICT（動画等）の活用（例：地場野菜の説明、食事のマナー）

④授業の中での ICT（動画等）の活用（例：栄養計算アプリを活用した授業）

中学校 ①オンラインを使用した給食時間の指導（例：給食センターと教室をつなぐ）

②オンラインを使用した授業（例：生産者と教室をつなぐ）

③給食時間における ICT（動画等）の活用（例：地場野菜の説明、食事のマナー）

④授業の中での ICT（動画等）の活用（例：栄養計算アプリを活用した授業）

⑤フォームを活用した活動（例：委員会等でアンケートフォームを活用した活動）

- ・ 所属別に6人程度の班にグループ分けをする。特別支援学校等については、小学校・中学校のいずれかの班に入るので、校種の希望があれば参加申込書に記載すること。
- ・ 指導案を作成し提出する。提出方法等については、申し込みフォームで確認すること。（申し込み後、掲載サイトからダウンロード可能）
- ・ グループワークの時間に各グループで ICT を用いた指導案の交流を行い、代表となる指導案を選出する。選出された指導案は、指導講評の時間に発表する。
- ・ 当日は、動画でなくて絵コンテでも可とする。

11 講義を視聴後、アンケートを提出すること。

12 その他 連絡・用意するもの等

- ・ テキスト（掲載サイトから事前にダウンロードし、準備すること。）
- ・ 食に関する指導の手引きー第二次改定版ー 文部科学省
- ・ 質疑応答の時間を設ける場合もある。Zoom のチャット機能を使用し質問すること。
- ・ 講師によって、ブレイクアウトルームを使用する場合もある。
- ・ ブレイクアウトルームの班分けはメールアドレスで行うため、申し込みには当日視聴するメールアドレスを記入すること。